

B枝は下垂したりねじれたりしない

C 細葉 葉や花は総て互生する

D 細葉 葉裏はやや白味がある

E葉は被針形-広被針形が標準

F側脈は裏凸しない;葉は特に鎌曲せず 若葉は両面多毛 葉柄に微毛多数残る 新枝は多毛-密毛(シダレヤナギ節6)

G葉巾8-12mm 若葉は両面密毛で毛はしばらく残る(毛は徐々に脱落);中脈は両面毛密生し、後微毛多数残る

新枝は太く、やや開出する毛を極密生する 葉柄に微毛多数残る

(SGOHKTY、東北南部-近畿、磯川畔)(高木;葉45細)【06コゴメヤナギ】

新葉は両面毛極密生;毛は徐々に脱落ししばらく残る

葉表は毛密生 ほぼ無毛、中脈は毛密生 微毛多数残存

葉裏は毛極密生 ほぼ無毛、中脈毛密生 微毛多数残存;毛は次第に脱落するが裏中脈には残る

;葉身の毛はやや短軟毛;裏中脈の毛は特に中脈に平行せず

若葉表緑、毛多く無艶 葉は表緑、やや艶あり;裏粉白(シロヤナギより質厚感あり)

中脈は両凸;表は側脈ほぼ平坦、細脈やや不透明;裏側脈は平坦-微凸(ほぼ平坦)、やや不明

低鋸歯-ひら鋸歯-やや弧状鋸歯;乾くと縁は狭くやや裏に反る

成葉は被針形;長尾状頭にならず;45細型 25-70mm、巾8-12mm

葉柄は毛密生-微毛多数 短く2-6mm

新葉は側縁だけが反ることはなく、全体が弧状に反る

托葉は鋭尖頭、卵形-偏卵形、鋸歯縁(毛多く全縁的)、両面多毛;基部に腺少数あり;早落性;(シロヤナギより巾広全縁)

新枝はやや開出する毛を極密生(密生部分長く10cm以上) 微毛密生;芽密毛-多毛;新枝は太い(シロヤナギ-セイコヤナギより太い)

(H;樹形もシロヤナギに似て、近い種類であるが、主に花穂が小さいこと、子房の毛はあっても基部のみであること、成葉が小さいことなどで区別される;分布も異なる)(Y;シロヤナギより葉が小さく、樹皮が黒っぽい;コゴメヤナギの子房は殆ど無毛だが、シロヤナギの子房は白軟毛密)(Y;ヨシノヤナギの葉裏は光沢のある緑色)(Y;高木生ヤナギの中で葉が最も小さいのが特徴)

G葉巾10-20mm 若葉は両面多毛、後無毛(毛はすぐ脱落)

;中脈は毛多く、後微毛残るが裏中脈の上向き直毛は中脈に平行し両脇によく残る

新枝は不規則方向の毛が密生する 葉柄に微毛多数残る

(SGOHY、主に東北以北、北陸、群馬、山形、河畔)(高木;葉455細)【05シロヤナギ】

新葉は両面毛密生;毛はすぐ脱落しすぐ無毛に向かう

葉表は多毛 ほぼ無毛、毛が落ちるとやや艶あり、中脈は毛密生-微毛残存

葉裏は多毛-ほぼ無毛、中脈は長い上向き直毛やや密生-微毛と直毛残る

;裏中脈の上向き直毛は中脈に平行し両脇によく残る

葉は表緑、艶あり、全面に白点密散在感あり;裏粉白;

(セイコヤナギと比し;葉巾広い、質やや厚い、裏白味強い)(コゴメヤナギより薄質感)

葉の中脈は両凸(セイコと比し上方まで凸している);表は側脈微凸、細脈は透明;裏側脈は平坦-微凸、やや不明

低鋸歯-低波鋸歯-ひら鋸歯

葉は被針形-広被針形;45細型;尾状頭にならず 50-110mm、巾10-20mm

葉柄は初め密毛 微毛多数散在;毛は次第に脱落する 2-5(8)mm

托葉は鋭尖頭、偏卵-偏長卵形、鋸歯縁、両面やや多毛;基部に腺なし-少しあり;やや遅くまで残る

新葉は側縁だけが反ることはなく、全体が弧状に反る

新枝は不規則方向の毛密生 毛多数散生;毛は次第に脱落する;芽密毛

近似種;【コウライヤナギ;(S0、中国以南)高木 成葉は被針形、80-130mm、巾12-25mm;裏中肋付近に毛があり、外は無毛;両面中肋除き無毛;裏粉白帯びる;細鋸歯 葉柄は5-10mm、無毛 若枝は短毛少しあるか、早く無毛になる】